

ながいきいけ
長行池【保存版】

ため池決壊の想定条件

地震や大雨によって、満水状態の長行池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

浸水の深さによって避難方法は異なります

- 浸水しない場所（空き地、道路など）
- 自宅の2階、危険のない近くの高い建物
- 自宅にとどまる

いざというときの連絡先（TEL）

さぬき市	代表	087-894-1111
警察	事件・事故の通報	110 局番なし
消防	火事・救助・救急	119 局番なし
災害用伝言ダイヤル	災害時の安否確認	171 局番なし

安全安心コミュニティ（登録無料）

登録しておくだけで、さぬき市における緊急災害情報などが携帯電話のメールに配信されるサービスです。



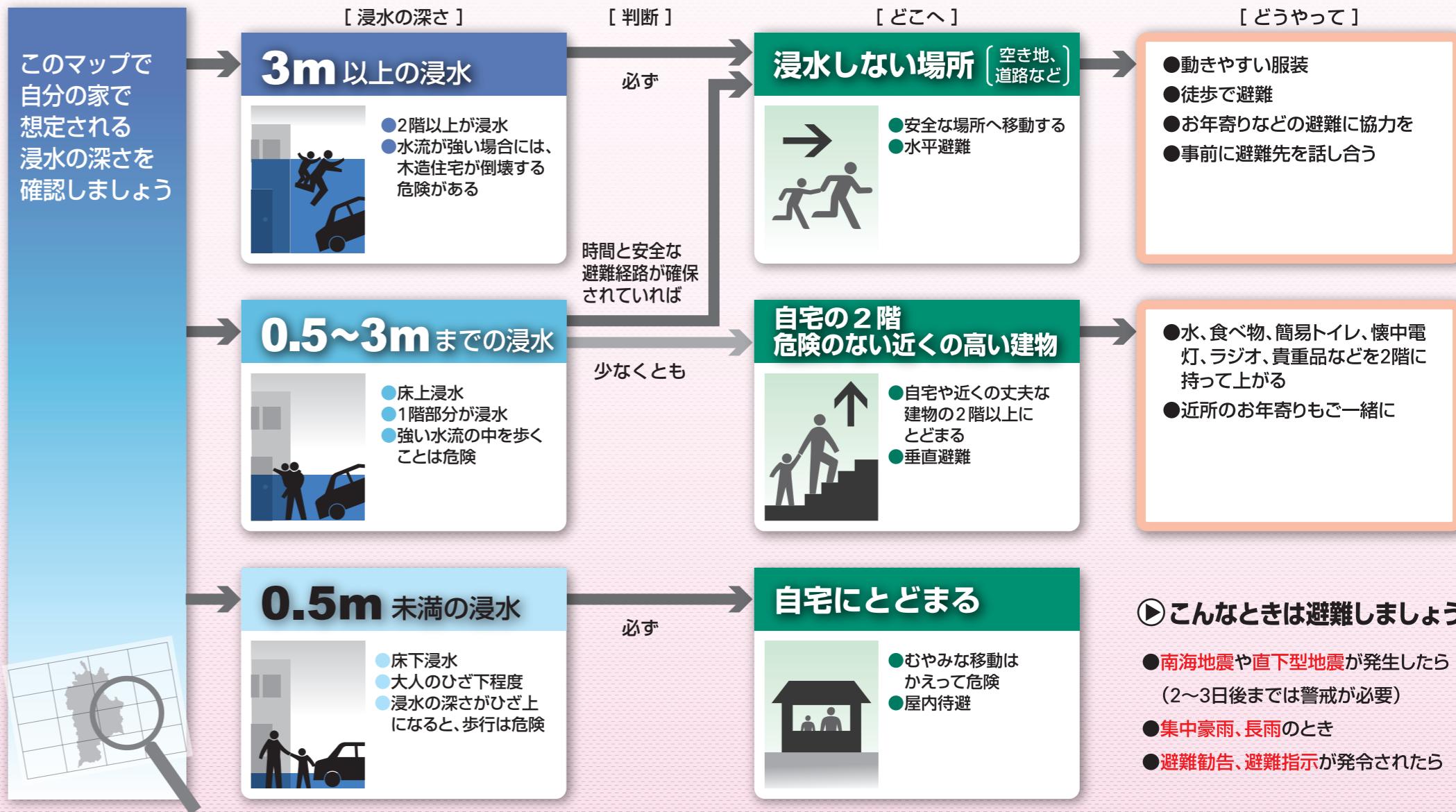
さぬき市

作成／平成 25 年 3 月
さぬき市建設経済部土地改良課
〒699-2195 香川県さぬき市志度 5385 番地 8
TEL : 087-894-1111 (代表)

ひなん
状況に応じた避難をしよう

想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。
いざというときに、どのように行動するのか、家族や地域で話し合いましょう。

» ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

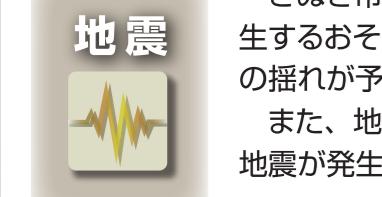


○こんなときは避難しましょう

- 南海地震や直下型地震が発生したら（2~3日後までは警戒が必要）
- 集中豪雨、長雨のとき
- 避難勧告、避難指示が発令されたら

ため池決壊について知ろう

» ため池決壊の原因（地震と大雨）



さぬき市では、東南海・南海地震（今後 30 年以内に発生するおそれ）が同時発生した場合に、震度 5 強～6 強*の揺れが予測されています。

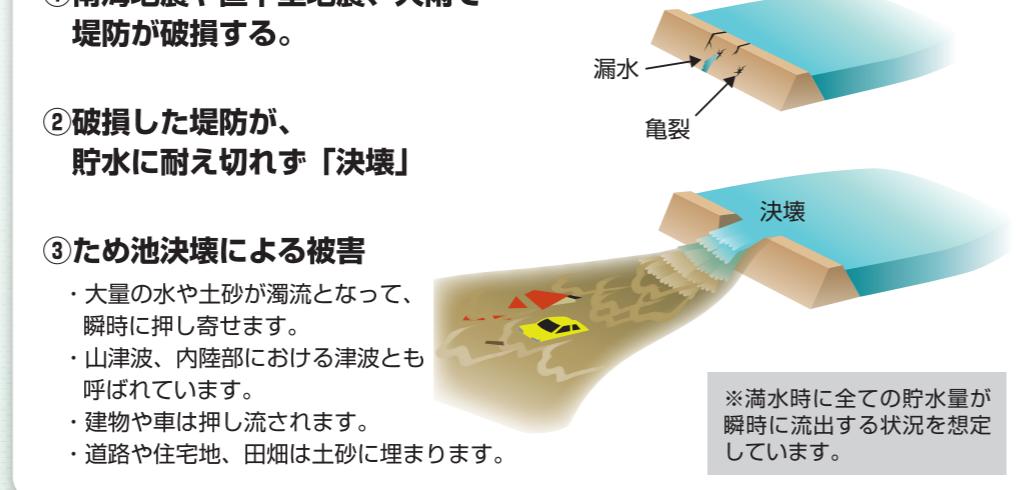
また、地震列島である日本では、どこにおいても直下型地震が発生する可能性があります。

* さぬき市地震ハザードマップ（平成 22 年 9 月作成）

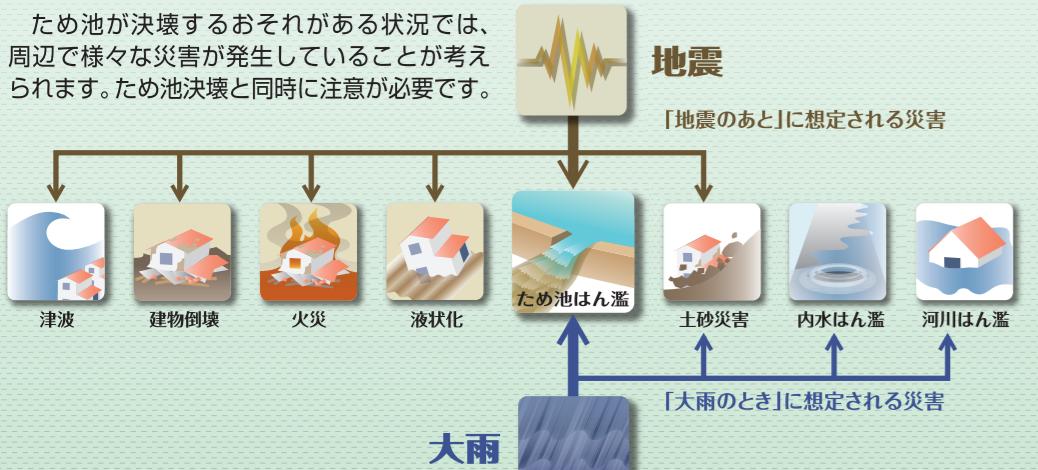


近年、短時間に激しく降る大雨（ゲリラ豪雨）が日本各地で増加しています。台風や梅雨時期に雨が降り続くと、ため池の水位が上昇し、ため池決壊のおそれがあります。

» ため池決壊の起こり方と、その被害



» ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害



» 災害事例

地震

-福島県須賀川市-

東北地方太平洋沖地震（平成 23 年 3 月 11 日）による震度 6 弱の揺れで、藤沼湖が決壊し、死者・行方不明者 8 名を出す被害となりました。

・長時間の強い揺れによって、地震後に決壊。

・田植え前で満水状態であった貯水が全て流出した。

・下流の集落に漏流となって押し寄せた。

身近なところでもため池決壊は起こっています。

大雨

-香川県さぬき市-

平成 23 年 9 月の台風 15 号に伴う大雨によって、薬師堂下池（津田町）の堤防が幅 18m、高さ 5m にわたって崩れました。

・緊急的に水位を下げたことにより決壊を免れた。

» 避難情報に注意しよう

» 避難情報を入手するときの注意事項



被災状況（防災行政無線の故障、広報車の通行不可、停電など）により、通常の手段を通じた情報の入手が困難になります。

そのことを前提と考え、憶測やデマに惑わされず、冷静に対応しましょう。

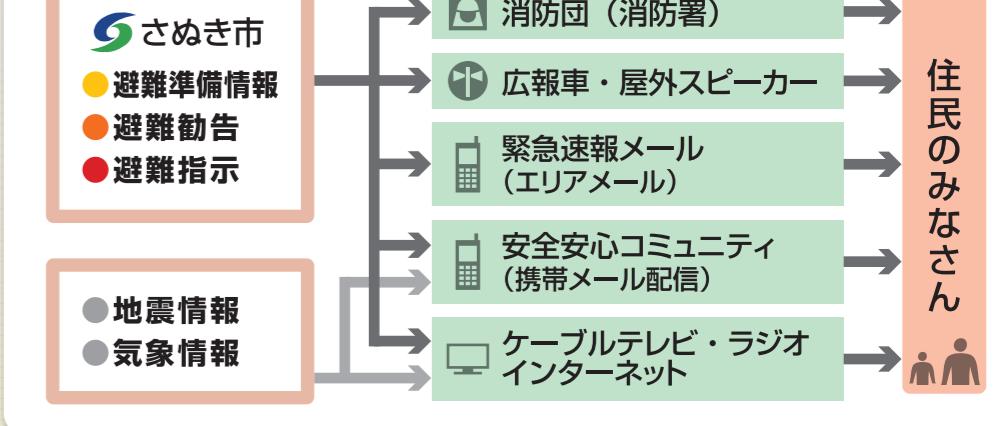


大雨時は家屋内にいる場合が多く、防災行政無線や広報車の呼びかけが雨の音で聞こえにくい場合があります。

テレビやラジオ、インターネットなどから自主的な情報収集を心がけましょう。

» 避難情報の伝達経路と内容

避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



» あらかじめ非常持ち出し品を準備しましょう

ながいきいけ
長行池
浸水深マップ

地震のあと

大雨

津波

建物倒壊

火災

液状化

ため池はんなま

土砂災害

内水はんなま

河川はんなま

ながいいき 長行池 浸水深マップ

**大雨
のとき**

大雨のときは、気象情報などを参考に、早めの避難を行うことが大切です。
雨が降り続くと、ため池決壟のほかにも、水はけの悪い水路や小河川、下水道などがあふれる内水はん蓋、土砂災害などの様々な災害が同時発生するおそれがあります。

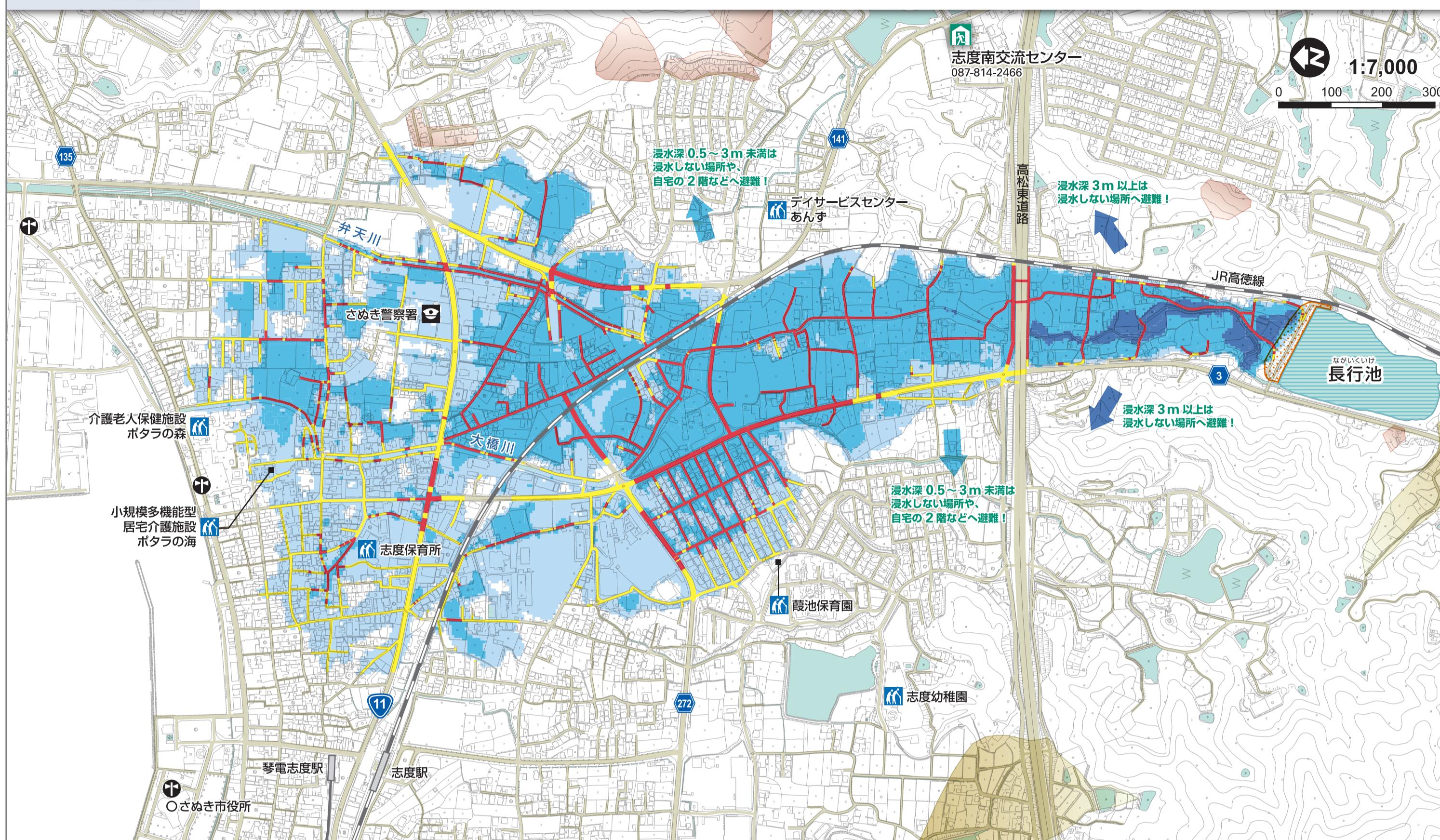
浸水の深さ
3m以上(浸水)
0.5~3m(浸水)
0.5m未満(浸水)

避難経路の安全性
特に危険な区域(ため池堤防)
ひざ上(0.5m以上)が浸水
ひざ下(0.5m未満)が浸水
土砂災害(急傾斜地の崩壊)
土砂災害危険箇所
土砂災害危険箇所
※内水はん蓋による
浸水想定区域は記載していません。

ため池決壟と同時に発生するおそれがある災害
土砂災害(急傾斜地の崩壊)
土砂災害危険箇所
土砂災害危険箇所
※内水はん蓋による
浸水想定区域は記載していません。

凡例
避難所(建物) 避難方向
警察
災害時要援護者施設
防災行政無線(屋外スピーカー)

1:7,000
0 100 200 300 m

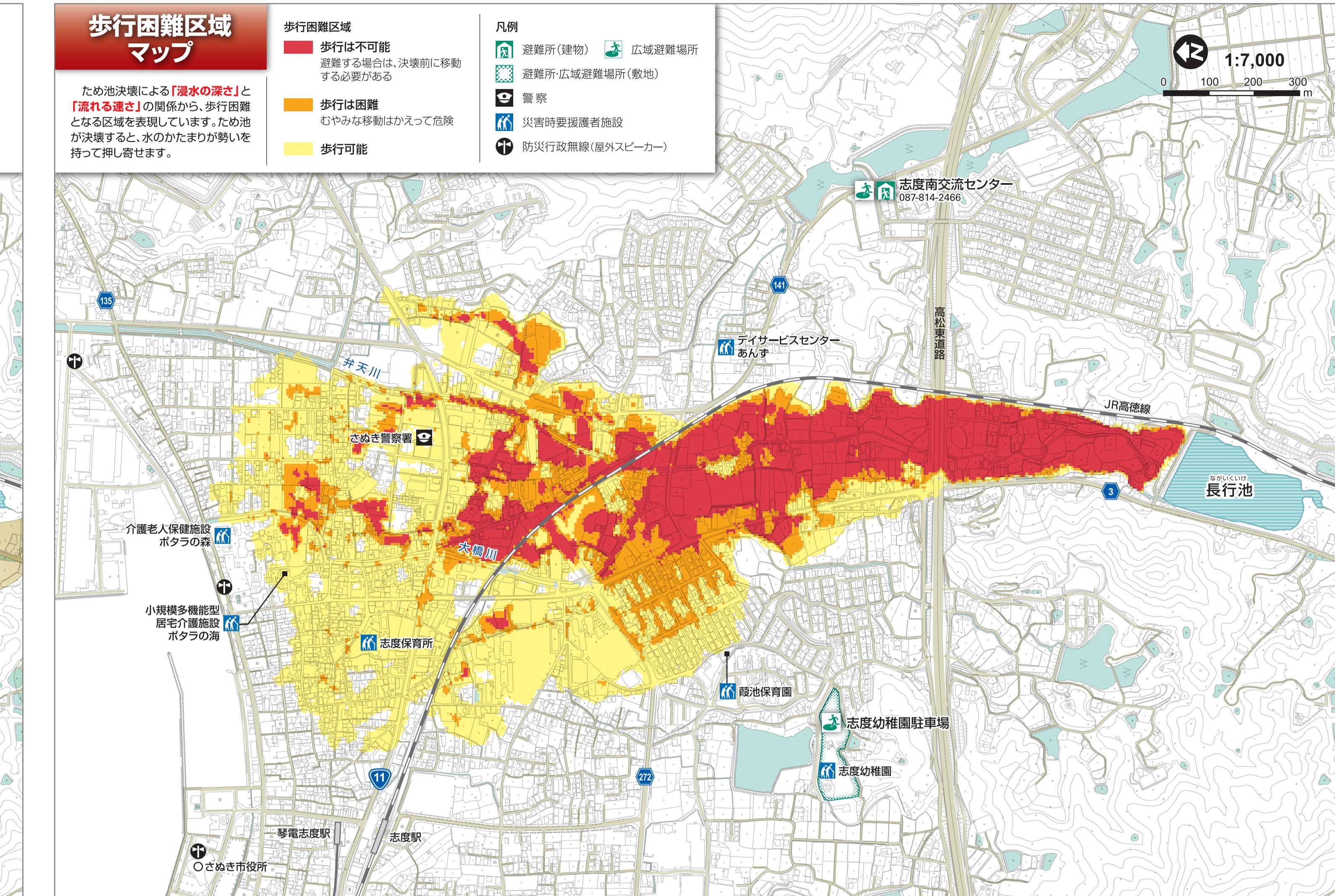


歩行困難区域 マップ

歩行困難区域
歩行は不可能
避難する場合は、決壟前に移動する必要がある
歩行は困難
むやみな移動はかえって危険
歩行可能

凡例
避難所(建物) 広域避難場所
避難所-広域避難場所(敷地)
警察
災害時要援護者施設
防災行政無線(屋外スピーカー)

1:7,000
0 100 200 300 m



ゆれやすさ マップ

震度分布

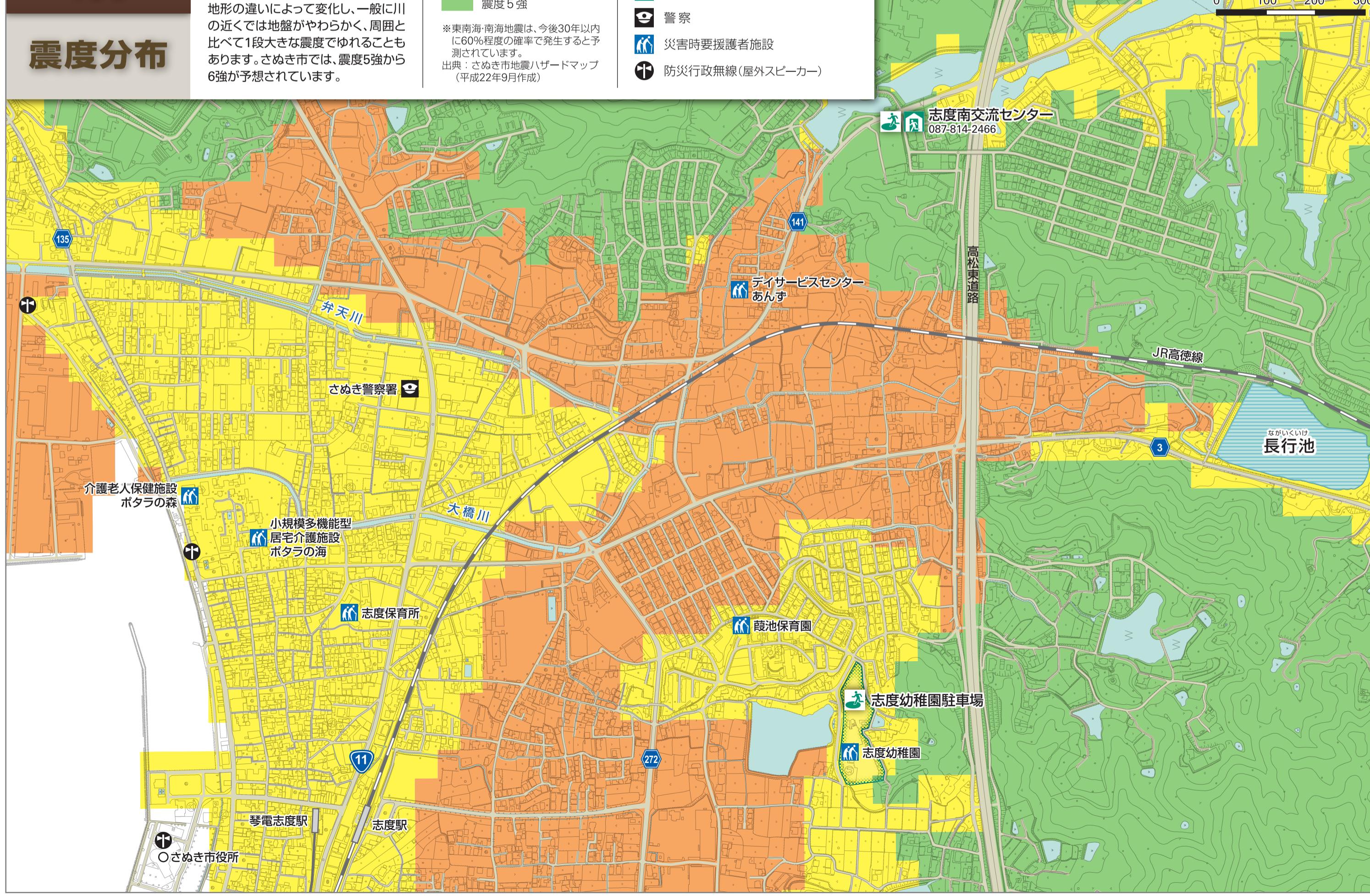
ゆれやすさマップは、東南海・南海地震が同時発生した場合に想定される震度分布を表現しています。

震度(東南海・南海地震)
震度 6 強
震度 6 弱
震度 5 強
※東南海・南海地震は、今後30年以内に0%程度の確率で発生すると予測されています。

出典：さぬき市地震ハザードマップ(平成22年9月作成)

凡例
避難所(建物) 広域避難場所
避難所-広域避難場所(敷地)
警察
災害時要援護者施設
防災行政無線(屋外スピーカー)

1:7,000
0 100 200 300 m



到達時間マップ

到達時間
決壟後 5分
決壟後 10分
決壟後 15分
決壟後 30分
決壟後 60分

凡例
避難所(建物) 広域避難場所
避難所-広域避難場所(敷地)
警察
災害時要援護者施設
防災行政無線(屋外スピーカー)

1:7,000
0 100 200 300 m

